

株主・投資家の皆様へ

第50期 年次報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



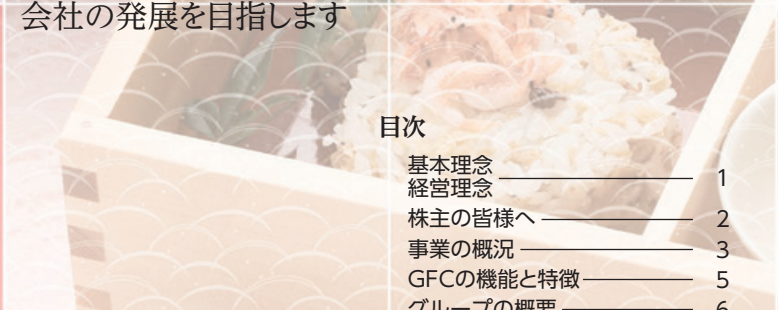
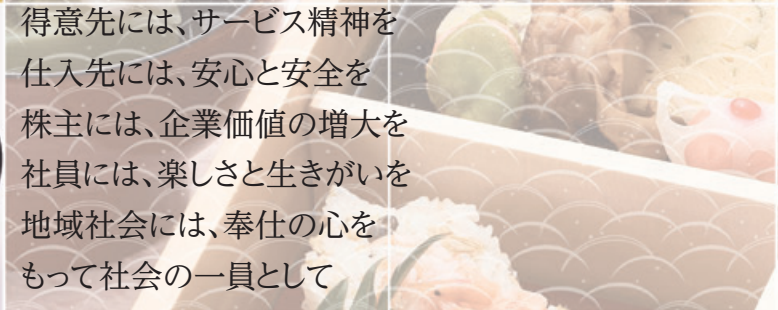


基本理念

食文化のゆとりと夢を創造します

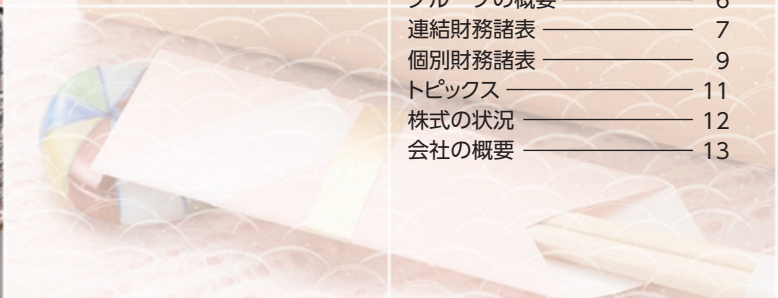
経営理念

得意先には、サービス精神を
仕入先には、安心と安全を
株主には、企業価値の増大を
社員には、楽しさと生きがい
地域社会には、奉仕の心をも
って社会の一員として
会社の発展を目指します



目次

基本理念	1
経営理念	1
株主の皆様へ	2
事業の概況	3
GFCの機能と特徴	5
グループの概要	6
連結財務諸表	7
個別財務諸表	9
トピックス	11
株式の状況	12
会社の概要	13



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第50期年次報告書をお届けするに当たり、ひとことご挨拶申し上げます。

当社は、2022年8月に設立50周年を迎えます。これもひとえに平素より株主の皆様のご温かいご支援と関係各位の格別のご高配の賜物と心より感謝申し上げます。

当社グループは、「おいしい出会い」を創りたいとの想いを胸に、業務用加工食材の企画・開発・販売業務を通して、日本の食文化の素晴らしさを全国に広めてまいりました。

また、日本国内のみならず、世界中に日本の食文化の素晴らしさを広めるとともに、世界の食材を日本国内に広め、新しいおいしさとの出会いを提案してまいりました。

おいしさに出会うと、
笑顔が広がる…和が広がる。

当社グループは、日本人の食生活や健康、笑顔に貢献し、人類の豊かな未来に向けた食文化の発展をサポートすべく、役員、従業員一同、努めてまいりたいと存じます。

今後とも皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年6月



代表取締役社長 野村公一

「おいしい出会い」を創りたい
おいしい笑顔の世界を広げたい…

● 事業の概況

(1) 企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が全国的にかつ長期間に渡って発出され、慢性的に先行き不透明な状況が続き、外食・レジャー・旅行などの外出型消費を中心に国内消費の低迷が続きました。また、各種原材料や原油等の高騰長期化や円安傾向も重なり、景気の先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出下において、営業時間や酒類提供の制限等へ真摯に対応した事で、極めて厳しい経営環境が続きました。当社グループにおきましては、長引くコロナ禍における各種要請に対応しながら、更なる企業価値向上を目指して、珍珠・和食・お節に関わる業務用食材の開発及び販売というコア事業の強化を推進すると同時に、中食や老健、通販業界などの新規事業分野の開拓や経営環境の変化に合わせた経営管理の高度化に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は167億4百万円（前年同期比8.3%増）、営業損失1億57百万円（前年同期は営業損失6億37百万円）、経常損失59百万円（前年同期は経常損失5億54百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失42百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失5億33百万円）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、当連結会計年度の売上高は10億56百万円減少、売上原価は10億56百万円減少、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。

(2) 対処すべき課題

新型コロナウイルスのまん延も3年目を迎える中、当社グループを取り巻く経営環境は、観光産業や外食産業の市場規模の縮小により依然厳しい状況にあります。そのような状況下において、当社グループはスピード感を持って再構築を図るために、以下の戦略を前期に引き続き継続していくことで、当社ビジョン「おいしい出会いを創りたい」の実現に向け、更なる企業価値の向上を目指します。

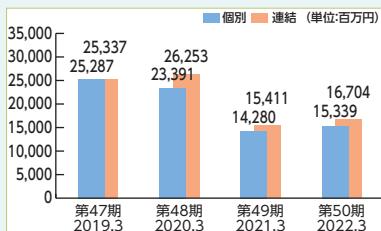
① コア事業の強化

新型コロナウイルス感染症の長期化により、外食産業を中心とした時短・自粛が続き、中食や通販の増加など、国内における「食」の事情も大きく変化しております。こうした中で、堅調な需要のある珍珠・和食・お節に関わる業務用食材の開発及び販売というコア事業を維持・拡大するため、これらを当社の重点領域と位置づけ、営業力・仕入力を集中いたします。当社の従来からの強みである広範な商品企画力、物流、ITサービスの得意分野でのサービス提供も加え、重要・重点顧客とのビジネスをさらに強固なものとするために各種施策を推進して、当社のコア事業の強化を推進してまいります。

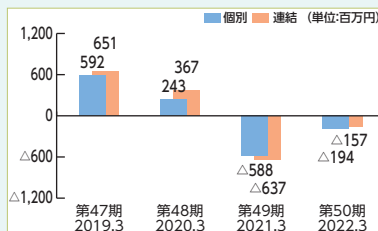
② グローバル事業の強化と商品の拡充

「グローバル事業への商品の拡充」については、更なる成長が期待できるASEANのマーケット獲得のために、各国の有力企業との取引を通じた商品展開を進めるだけでなく、グループ会社とともに、ASEAN市場での更なる和食文化の発展と成長を目指し、当社の強みである広範な商品企画力を生かし、グローバル市場に通用する商品開発力を強化いたします。そして、日本の誇

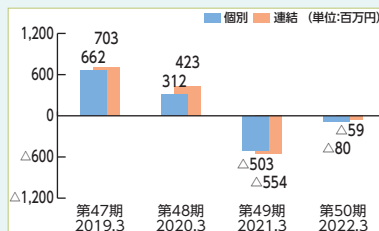
◆ 売上高



◆ 営業利益又は営業損失



◆ 経常利益又は経常損失



れる“食文化”であるわが国特有の『和食』を訴求できるように、ASEAN市場を中心としたグローバル市場に投入する商品を充実させてまいります。

③ 新規事業分野の開拓

珍味・和食・お節に関わる業務用食材の開発及び販売というコア事業の強化を推進しつつ、事業環境の変化に応じた新たな事業分野の開拓を加速させることで、収益性の改善や事業領域の見直しを引き続き進めてまいります。中食や老健、通販業界での新規顧客の開拓や、一般消費者向けの販売体制を強化しつつ、加えて、今後の新しい生活様式に基づく消費行動、マーケットにマッチした商品開発に注力いたします。コロナ禍というピンチをチャンスと捉え、新たなマーケットに向けて、当社グループが連携して商品開発を推し進め、当社ブランドであるPB商品を拡充してまいります。

④ 人材の高度化

社会が大きく変容していく中で、改めて初心と基本を徹底し、この困難な状況を突破いたします。そのために従業員の成長や自己実現・健康を重視し、多様な人材が活躍できる仕組み・風土構築を通じて、働きがいのある企業文化の向上に努めてまいります。従業員が仕事を通じて自己実現を図り、より高い成果が生み出せるよう、職場風土・環境の整備に取組み、働き方改革を通じた生産性の向上と企業価値の向上、健康経営を積極的に推進し、従業員一人ひとりの成長と会社の持続的な発展を目指し、各種制度や職場環境の整備を進めてまいります。

⑤ 経営管理の高度化

当社グループはこれまで、観光産業や外食産業を中心に事業展開してまいりましたが、経営環境の変化に伴う収益基盤の強化は大きな課題であり、市場でのコストダウン圧力に加え、仕入原価、物流費、人件費の高騰による収益構造の悪化は喫緊の課題であります。また、食品を取り扱う企業として、商品の品質確保は最も重要な責務です。加えて、この度の新型コロナウイルス感染症や自然災害、リスクに備えた管理体制の更なる強化が求められます。これらの経営環境の変化に合わせた課題を克服するために、グループ会社含めすべての人材の強化を図り、一体となって再構築を実現し、部門採算管理、グループ経営管理の高度化の実現を推進してまいります。

当期（連結）の状況

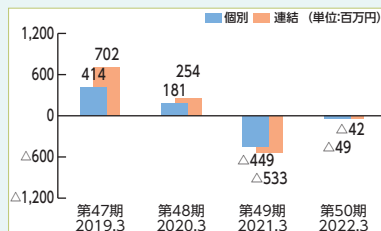
売上高
167億4百万円
(前年同期比8.3%増)

営業損失
1億57百万円
(前年同期は営業損失
6億37百万円)

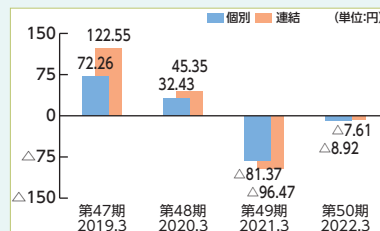
経常損失
59百万円
(前年同期は経常損失
5億54百万円)

親会社株主に帰属
する当期純損失
42百万円
(前年同期は親会社株主
に帰属する当期純損失
5億33百万円)

◆親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 / 当期純利益又は当期純損失



◆1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失



◆ GFCの機能と特徴

当社は、主に業務用加工食材を取扱う、一次卸売業です。当社の特徴は、料理人の方々をサポートする食材を専門に取扱ってきたことにあります。

時代背景を元に、調理場・セントラルキッチンニーズを収集し、様々な商品を企画・開発・販売することによって、事業を拡大してまいりました。

当社では、手作り感のある付加価値の高い商品を30,000点以上取扱い、幅広く、使い勝手の良い食材をお客様のニーズに合わせて提供しております。

取扱商品の特徴

人手不足を補う
完成度の高い商品



下拵えの手間を省いた
商品



献立・メニューの種類を
増やす完成品



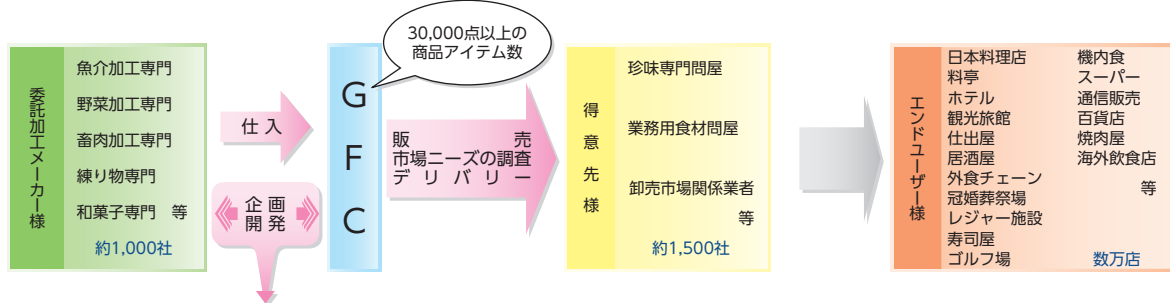
希少価値の高い商品



料理演出に使用するツール



取扱商品の企画開発・流通フロー図



商品企画・開発

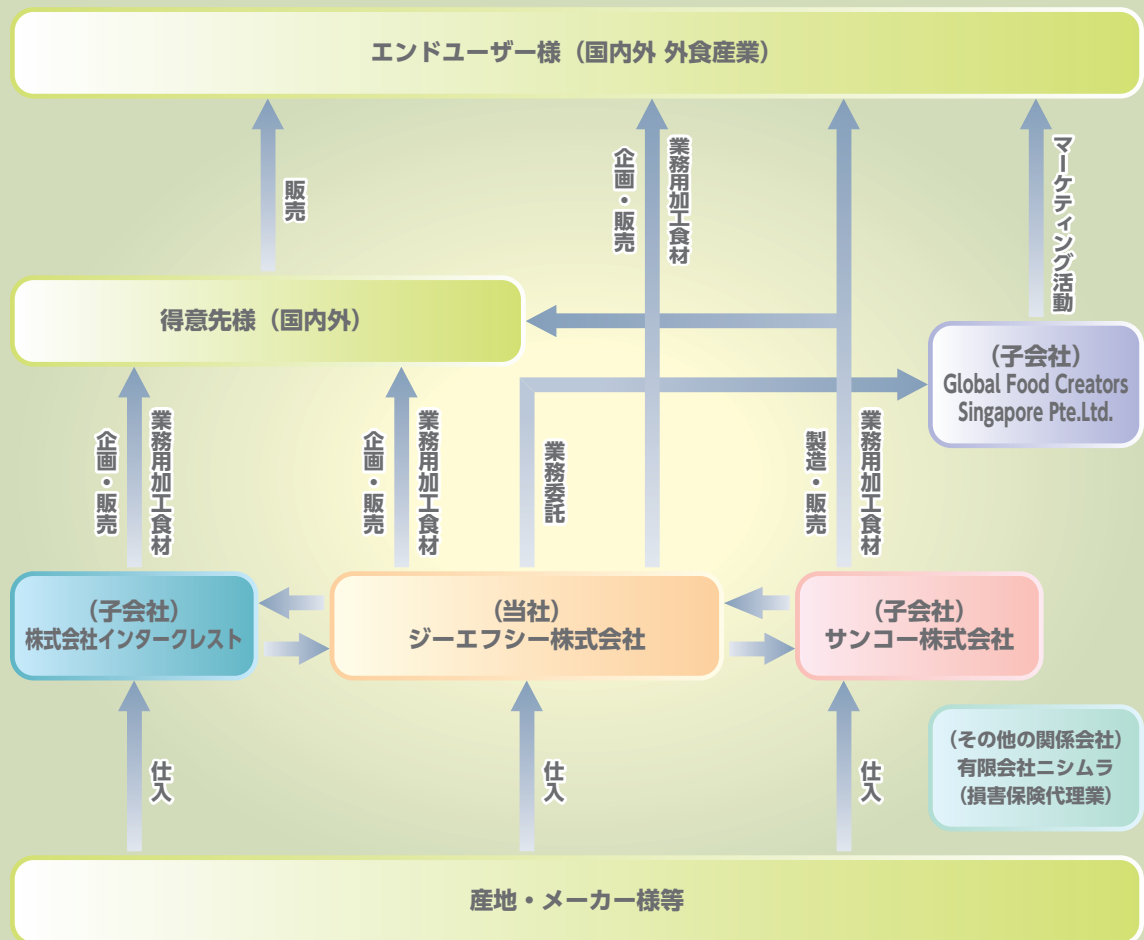


営業活動等により収集した市場ニーズをもとに、当社と委託加工メーカー様が、お互いのノウハウを活かしながら、新商品の企画開発を実施

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、連結子会社3社及びその他の関係会社で構成され、その主な事業内容は、観光旅館、ホテル、冠婚葬祭場、その他外食産業で使用される業務用加工食材の企画・製造・販売であります。当社グループ内における当社及び連結子会社の位置付けは、次のとおりであります。

- 業務用加工食材の企画・販売……………当社（ジーエフシー株式会社）
株式会社インタークレスト
- 業務用加工食材の製造・販売……………サンコー株式会社
- 海外市場におけるマーケティング活動……Global Food Creators Singapore Pte.Ltd.

事業の系統図は次のとおりであります。



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期	当期
	(2021年3月31日現在)	(2022年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	12,195,080	11,876,178
現金及び預金	8,106,541	7,831,529
受取手形及び売掛金	1,576,554	-
受取手形	-	89,985
売掛金	-	1,791,631
有価証券	1,250,000	1,300,000
商品及び製品	1,100,441	742,907
原材料及び貯蔵品	93,107	62,622
その他	72,055	62,813
貸倒引当金	△3,620	△5,310
固定資産	6,408,053	6,365,131
有形固定資産	4,433,679	4,336,382
建物及び構築物	573,980	517,130
機械装置及び運搬具	70,569	65,779
土地	3,706,311	3,706,311
その他	82,818	47,160
無形固定資産	63,425	61,026
ソフトウェア	34,098	32,456
その他	29,326	28,570
投資その他の資産	1,910,949	1,967,723
投資有価証券	1,337,712	1,278,888
繰延税金資産	225,155	293,478
退職給付に係る資産	197,963	205,364
その他	167,708	203,924
貸倒引当金	△17,589	△13,932
資産合計	18,603,134	18,241,310

科目	前期	当期
	(2021年3月31日現在)	(2022年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	1,801,054	1,622,546
支払手形及び買掛金	926,911	1,058,361
短期借入金	509,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	31,480	12,120
未払法人税等	38,725	17,435
賞与引当金	68,943	127,034
役員賞与引当金	5,318	5,400
その他	220,676	262,196
固定負債	550,629	543,521
長期借入金	212,120	200,000
役員退職慰労引当金	91,883	98,511
退職給付に係る負債	169,402	175,136
その他	77,223	69,873
負債合計	2,351,683	2,166,068
純資産の部		
株主資本	16,249,656	16,080,413
資本金	2,344,021	100,000
資本剰余金	2,295,156	4,539,178
利益剰余金	11,961,946	11,792,703
自己株式	△351,467	△351,467
その他の包括利益累計額	1,793	△5,171
その他有価証券評価差額金	4,033	△4,622
為替換算調整勘定	△2,239	△548
純資産合計	16,251,450	16,075,242
負債純資産合計	18,603,134	18,241,310

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前期		当期	
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	15,411,803	16,704,461		
売上原価	12,719,401	13,531,537		
売上総利益	2,692,402	3,172,924		
販売費及び一般管理費	3,330,080	3,330,804		
営業損失(△)	△637,677	△157,880		
営業外収益	86,925	107,793		
営業外費用	3,459	9,768		
経常損失(△)	△554,211	△59,855		
特別利益	99	8		
特別損失	89,619	29,436		
税金等調整前当期純損失(△)	△643,731	△89,282		
法人税、住民税及び事業税	24,323	20,952		
法人税等調整額	△134,640	△68,155		
当期純損失(△)	△533,413	△42,080		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△533,413	△42,080		

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前期		当期	
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,315	350,184		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,878	△97,283		
財務活動によるキャッシュ・フロー	499,868	△529,844		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	486,392	△275,012		
現金及び現金同等物の期首残高	7,570,149	8,056,541		
現金及び現金同等物の期末残高	8,056,541	7,781,529		

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

連結株主資本等変動計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	2,344,021	2,295,156	11,961,946	△351,467	16,249,656	4,033	△2,239	1,793	16,251,450
当期変動額									
減資	△2,244,021	2,244,021			-				-
剰余金の配当			△127,162		△127,162				△127,162
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△42,080		△42,080				△42,080
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△8,655	1,690	△6,965	△6,965
当期変動額合計	△2,244,021	2,244,021	△169,242	-	△169,242	△8,655	1,690	△6,965	△176,207
当期末残高	100,000	4,539,178	11,792,703	△351,467	16,080,413	△4,622	△548	△5,171	16,075,242

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期 (2021年3月31日現在)	当期 (2022年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	10,318,532	10,436,791
現金及び預金	7,142,793	7,073,731
受取手形	80,731	89,985
売掛金	1,310,761	1,491,236
有価証券	1,250,000	1,300,000
商品及び製品	390,904	343,759
原材料及び貯蔵品	17,595	19,524
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	66,666	66,666
その他	62,660	57,199
貸倒引当金	△3,580	△5,310
固定資産	6,749,239	6,644,879
有形固定資産	4,307,169	4,216,313
建物	472,853	423,924
構築物	10,769	8,571
機械及び装置	30,548	28,083
車両運搬具	4,294	2,549
工具、器具及び備品	82,391	46,873
土地	3,706,311	3,706,311
無形固定資産	60,800	57,813
借地権	21,741	21,741
ソフトウェア	31,768	29,537
電話加入権	6,535	6,535
その他	756	-
投資その他の資産	2,381,268	2,370,752
投資有価証券	1,337,712	1,278,888
関係会社株式	347,163	347,163
出資	90	49,714
関係会社長期貸付金	133,333	66,666
破産更生債権等	7,549	3,892
長期前払費用	21,120	14,571
繰延税金資産	220,985	288,984
保険積立金	67,324	69,424
前払年金費用	197,963	205,364
その他	65,616	60,014
貸倒引当金	△17,589	△13,932
資産合計	17,067,771	17,081,671

科目	前期 (2021年3月31日現在)	当期 (2022年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	1,189,865	1,376,164
支払手形	9,461	15,637
買掛金	890,338	1,029,340
未払金	122,041	129,343
未払費用	55,731	60,850
未払法人税等	21,377	3,423
預り金	9,917	6,933
賞与引当金	62,130	119,495
役員賞与引当金	4,268	4,350
その他	14,599	6,791
固定負債	310,188	322,932
退職給付引当金	160,192	167,332
役員退職慰労引当金	81,373	85,726
その他	68,623	69,873
負債合計	1,500,054	1,699,096
純資産の部		
株主資本	15,563,684	15,387,197
資本金	2,344,021	100,000
資本剰余金	2,295,156	4,539,178
資本準備金	2,295,156	2,295,156
その他資本剰余金	-	2,244,021
利益剰余金	11,275,973	11,099,486
利益準備金	124,250	124,250
その他利益剰余金	11,151,723	10,975,236
別途積立金	7,350,000	7,350,000
繰越利益剰余金	3,801,723	3,625,236
自己株式	△351,467	△351,467
評価・換算差額等	4,033	△4,622
その他有価証券評価差額金	4,033	△4,622
純資産合計	15,567,717	15,382,574
負債純資産合計	17,067,771	17,081,671

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

損益計算書

(単位：千円)

科 目	前 期	当 期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売 上 高	14,280,131	15,339,021
売 上 原 価	11,842,045	12,482,567
売 上 総 利 益	2,438,085	2,856,454
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,026,141	3,050,483
営 業 損 失 (△)	△588,055	△194,029
営 業 外 収 益	85,236	115,276
営 業 外 費 用	775	2,127
経 常 損 失 (△)	△503,594	△80,880
特 別 利 益	99	8
特 別 損 失	89,619	29,436
税 引 前 当 期 純 損 失 (△)	△593,113	△110,308
法人税、住民税及び事業税	6,847	6,847
法 人 税 等 調 整 額	△150,040	△67,830
当 期 純 損 失 (△)	△449,920	△49,324

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)



株主資本等変動計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金	利益剰余金 合計						
当期首残高	2,344,021	2,295,156	-	2,295,156	124,250	7,350,000	3,801,723	11,275,973	△351,467	15,563,684	4,033	4,033	15,567,717
当期変動額													
減資	△2,244,021		2,244,021	2,244,021						-			-
剰余金の配当							△127,162	△127,162		△127,162			△127,162
当期純損失(△)							△49,324	△49,324		△49,324			△49,324
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)											△8,655	△8,655	△8,655
当期変動額合計	△2,244,021	-	2,244,021	2,244,021	-	-	△176,487	△176,487	-	△176,487	△8,655	△8,655	△185,143
当期末残高	100,000	2,295,156	2,244,021	4,539,178	124,250	7,350,000	3,625,236	11,099,486	△351,467	15,387,197	△4,622	△4,622	15,382,574

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

トピックス

自転車・食・対話をテーマとした施設『BLOCK47』がオープンいたしました！

2022年4月に岐阜県羽島市の新幹線岐阜羽島駅から徒歩約5分の場所に、自転車・食・対話をテーマとした施設『BLOCK47』がオープンいたしました！当社は、『BLOCK47』の中の「深める体験型ショールームカフェ“BLOCK-47Eats”」の運営組織に参画しております。

コンセプトは人と人との「つながり」を「むすぶ」こと。地元岐阜の食材の魅力や素晴らしさを伝え、訪れていただく全ての皆様がワクワクするような「土台づくり」、「人づくり」、「魅力と活力づくり」を通して、地域・社会に貢献していきます。ぜひ、『BLOCK47』へお立ち寄りいただければ幸いに存じます。



<https://block47.jp/>



左記のQRコードにて『BLOCK47』をご覧ください。

おかげさまで、一般消費者向けサイト『和食党』がオープンから1年がたちました！

2021年5月に、一般消費者向けサイト『和食党』がオープンして、1年を迎えることができました。『和食党』では日本の美しい四季や、そのシーズンごとのイベントや記念日を大切に、随時、特集を行っておりますので、是非お立ち寄りくださいませ。



う舞（うまい）海老BBQカット



沖縄産黒糖わらびもち

今後も引き続き、日本の誇れる“食文化”を大切に、食生活や健康、世代を超えた人々の“笑顔”に貢献するため、「食のシーン」の提案をまいります。

<https://washokuto.jp/>

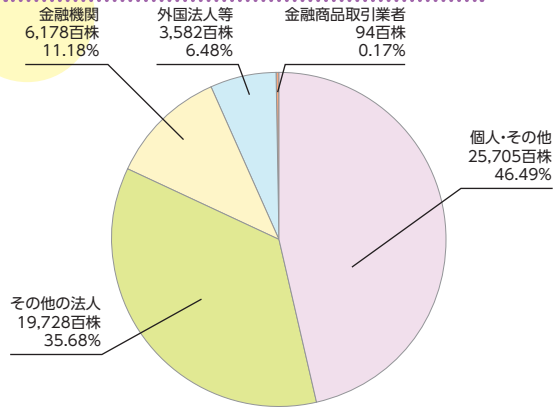


左記のQRコードにて『和食党』をご覧ください。

● 株式数及び株主数

発行可能株式総数	21,870,000株
発行済株式の総数	5,528,806株
(自己株式240,234株を除く)	
単元株式数	100株
株主数	3,904名

● 所有者別株式分布状況 (自己株式除く)

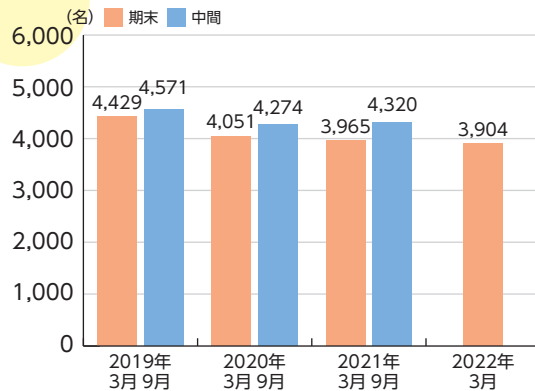


● 大株主

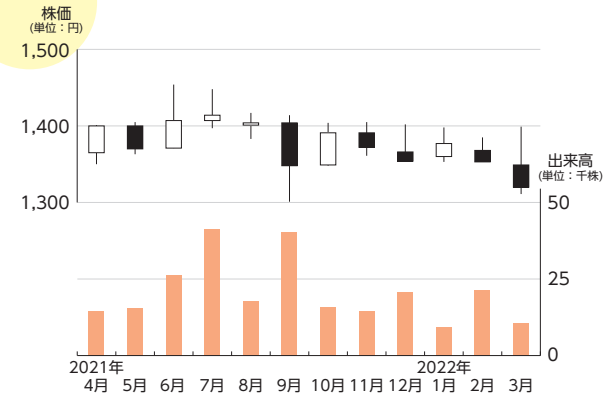
株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
有限会社ニシムラ	14,920	26.98
ジーエフシー取引先持株会	7,474	13.51
ジーエフシー従業員持株会	2,465	4.46
株式会社十六銀行	2,430	4.39
株式会社大垣共立銀行	1,890	3.41
西村牧子	1,820	3.29
西村悦郎	1,700	3.07
西村美枝子	1,700	3.07
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	1,291	2.33
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LIMITED - HONGKONG PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8028-394841	1,167	2.11

(注) 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

● 株主数の推移



● 株価及び出来高の推移



● 会社の概要

(2022年3月31日現在)

商号	ジーエフシー株式会社
本社	〒501-6193 岐阜県羽島郡笠松町田代978番地の1
設立年月日	1972年8月31日
事業内容	業務用加工食材卸
資本金	100,000,000円
営業所	仙台営業所（仙台市宮城野区） 東京営業所（東京都中央区） 大阪営業所（大阪市此花区） 福岡営業所（福岡市博多区）
従業員数	220名

● 役員

(2022年6月23日現在)

代表取締役社長	西村公一
取締役	苗村彰仁
取締役	丹羽淳
取締役（常勤監査等委員）	飯尾照男
取締役（監査等委員）	葛西良亮
取締役（監査等委員）	岡田昌也
取締役（監査等委員）	高橋克徳

- (注) 1. 取締役（監査等委員）葛西良亮氏、岡田昌也氏及び高橋克徳氏は、社外取締役であります。
2. 当社は、取締役（監査等委員）葛西良亮氏、岡田昌也氏及び高橋克徳氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届けております。

● 営業拠点



◆ 社名の由来

ジーエフシーの名前は

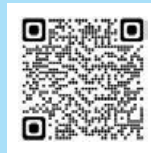
「GLOBAL FOOD CREATORS」

(世界の食の創作者の意) から頭文字をとったもので、おいしさを世界に追求する当社の姿勢を示しております。



当社ホームページをご覧ください。

株主・投資家向けのIR情報から新商品などの取り扱い商品まで、様々な会社情報を随時開示しております。ぜひ、ご覧ください。



上記のQRコードにて当社ホームページをご覧ください。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

<https://gfc-jp.com/>

事業年度
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
定時株主総会
株主名簿管理人
特別口座管理機関
同連絡先

4月1日～翌年3月31日
3月31日
9月30日
毎年6月

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所
証券コード
公告の方法

東京証券取引所 スタンダード
7559

電子公告により行う

公告掲載URL <https://gfc-jp.com/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 株主優待のご案内

当社では、ご所有の株式数に応じて当社取扱商品を贈呈する株主優待制度を導入しております。

毎年、9月30日現在のご所有株式数100株以上1,000株未満の株主様に対し、2,000円相当、1,000株以上10,000株未満の株主様に対し、5,000円相当、10,000株以上の株主様に対し、10,000円相当の当社取扱商品を年1回贈呈いたします。

2021年度 株主優待品

2,000円相当の商品



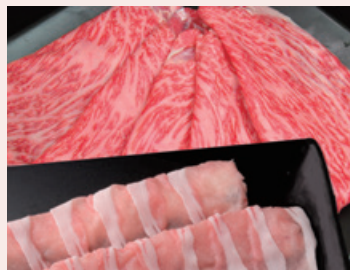
【鮪づくしセット】

5,000円相当の商品



【瀬戸乃屋 神戸牛詰合せ】

10,000円相当の商品



【飛騨牛もも・飛騨なっつく豚ロース しゃぶしゃぶセット】

〈お問合せ先〉

ジーエフシー株式会社 総務人事部

〒501-6193 岐阜県羽島郡笠松町田代978番地の1

電話 058-387-8181 (代表)

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

